

## 高山市行政経営本部 第3回「DX推進部会」結果報告

【日時】 令和3年6月14日（月） 午後15時00分～17時10分

【場所】 高山市役所地下 大会議室

【出席】 20名  
部会メンバー18名  
外部有識者2名（うちオンライン参加1名）

### 【概要】

冒頭、前回「話題提供」としてお話いただいた中村氏に対する質疑回答、次いで、（一社）行政情報システム研究所の発行された研究冊子「ガバメント・デジタル・トランスフォーメーション（GD X）の理念と実践」の要点を紹介し、改めて「DX」の本旨について、メンバー間で共通認識の形成を図った。

その後、2グループに分かれ、事務局から提示した計画（素案）を題材に、疑問点や修正・追加提案のほか、関係の議論をブレインストーミング形式で行い、模造紙を使つての発表により全体で共有した。

### 【詳細】

#### 1. 第2回の中村氏の話題提供への質疑

##### ○質問内容

技術営業職として、某自治体で基幹システム刷新のため、約半年勤務された際の苦勞と対応について

##### ○回答

- (1)自治体の意思決定のスピードの遅さ（承認に1か月かかる等）→スケジュールを調整
- (2)人事異動による担当者の交代（ノウハウの継承が難しい）
- (3)公務従事者との感覚の差異＝民間企業の勤務時間やコストへの無考慮（長時間の会議や実証実験への付き合い、無償作業など）

#### 2. 研究冊子の紹介

発行：2021年6月1日「（一社）行政情報システム研究所」発行

題名：GD X（ガバメント・デジタル・トランスフォーメーション）行政府における理念と実践

「DX」の本旨とは、

- 直訳の「デジタルへの変革（技術の活用）」ではなく、「人を中心に考える」ことがポイント
- デジタル技術が普及拡大する環境のなかで、利用者の目線に立って、顧客体験（UX）を向上させるため、変革し続けるという職員の信念（マインドセット）と組織文化のことである。

### 3. 意見交換

2グループに分かれ、付箋と模造紙を使つての1時間15分程のブレインストーミングの後、各グループから主だった内容を紹介し、全体で共有した

※意見の一覧は、別添「第3回DX推進部会\_意見交換まとめ」のとおり

#### 【1グループ】

- 計画の位置付けを示す図の修正案
- 「人に優しいデジタル化」の視点で、子どもから高齢者まで誰もが便利で簡単に使えることが重要
- 広く自然豊かな高山ならではの視点の追加
- 移住者や若者にも住みやすく、魅力的なまちづくりの視点の追加
- トップダウンではなく、ボトムアップの手法による推進が重要
- 課内・庁内での情報共有不足の改善や共通認識の形成
- 各課から具体的な取組みを意見収集する必要性
- L o G oフォームやk i n t o n eなどツールの各職員への周知
- 都市間との連携による転入・転出手続きの簡略化（国で調整中）
- 市民に分かりやすい市HPへの変革
- DX推進リーダーによる横断的な連携強化 など

#### 【2グループ】

- デジタル化に馴染めない層への対応の確保（例：オンライン化しつつ、窓口でも丁寧に対応）
- 市主催の比較的規模の大きい講座、地域密着による出前講座の展開（デバイスの操作など）
- 通信キャリアとの連携によるスマホ教室等の開催
- 知識やスキルを身に着けた高齢者（≒伝道師・アンバサダー）が、同年代へと伝える取組みの促進
- 市職員の意識改革のほか、市民（地域）の意識変化や技術習得を時間をかけて促進
- 行政内部の業務改革（簡略化やフローの改善）による市民の感じる手続きの煩雑さ等の解消、市民サービスの向上 など

#### 《連絡事項等》

- 第4回の会議は、6月25日（金）に予定していたが、庁内における政策調整や各担当課への内容の確認等の日程確保のため延期とし、日時場所を再設定のうえ案内させていただきます

以上